

平成30年度 事業報告
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

重点事業

【重点】1 各地域団体と協働した地域福祉活動の展開

福祉コミュニティの組織である「校下社協」、「ネットワーク委員会」および「まちづくり協議会（地域活動協議会）」が、それぞれの強みや実績を生かしながら、多様な人、組織の参画と協働により、一人ひとりの暮らしを大切にする地域福祉活動が展開できるよう、関係性を整理し、支援体制の強化・充実に努めました。

1 校下社協・ネットワーク委員会・まちづくり協議会（地域活動協議会）

(1) 校下社会福祉協議会会長・ネットワーク委員会合同会議

① 6月27日

助成金について、募集要項等の説明を行い、校下社協研修、三角巾助成について説明を行いました。また、見守り相談室をはじめとした各事業報告、防災を通じた地域とNPOの連携等の報告を行いました。

② 2月8日

平成30年度事業について、「地域活動」「生活支援体制整備事業」「見守り相談室」の実施体制等について説明、事業アンケート、助成金申請書の説明を行いました。

(2) 校下社協助成金、地域共生ケア助成金

助成金の内容について、個別に相談支援の対応を行った。

(3) 各ブロックおよび各まちづくり協議会事務連絡会への参加

① 各ブロックまちづくり協議会事務連絡会議への参加

| | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| Aブロック | 11回 | Bブロック | 7回 |
| Cブロック | 11回 | Dブロック | 10回 |

② 地域行事への支援

| | |
|----------------|---------------------------|
| Aブロック・・・スリーアイズ | Bブロック・・・スリーアイズ |
| Cブロック・・・安シティ | Dブロック・・・雪まつりは雪不足のため 中止 |

2 防災を通じて、地域とNPOをつなぐ取組み。

地域防災計画作成において、要援護者に関わる地域の専門職・地域資源としてのNPOをつなぎました。(生野南・東中川・小路)

3 福祉コーディネーターを核とした、地域福祉への取組みを支援。

食事サービス・喫茶への参加することで、地域の事業の中に見守り・つながりを大切に視した視点への支援をしました。また、地域の見守り活動者とともに熱中症予防の見守り訪問を実施しました。

福祉コーディネーターの企画立案によりボランティア交流会等、ボランティアの活性をあげる事業を実施しました。

4 地域福祉の課題解決に向けた支援

Dブロックの移動支援会議を継続し開催しました。

地域福祉の課題解決に向け、レクリエーションを通して、コミュニケーションをとることで人とのつながりづくりを大切にすることを目的にボランティア研修を開催しました。

【重点】 2 セーフティネットと地域におけるつながりづくり

セーフティネットの一層の充実を図るため、地域包括支援センターや生活困窮者自立相談支援事業、見守り相談室、ご近“助”パワフルサポート事業などの相談支援事業を軸に、各関係機関・団体との連携を行いました。子どもから高齢者を対象に、当事者の立場に立った寄り添い支援を心がけ、深刻な生活課題については地域の課題として共有化を図り、解決に向けた検討を行い、つながりのある地域づくりを推進しました。

区内地域包括支援センターと個別支援にかかる連携および情報共有のため、小圏域会議や地域ケア会議へ参画。また、本会地域包括支援センターや生活困窮者自立相談支援事業、見守り相談室が実施する個別ケース会議においても行政や障がい者相談支援センターと連携し幅広い視点から個別支援に対応しました。

- ・要援護者の見守りネットワーク強化について各相談支援事業と行政の会議への参画
見守りプロジェクトチーム会議：年6回
- ・ゴミ屋敷等支援のため各相談支援事業と行政の会議への参画
いくのくらしリセット会議：年6回
- ・地域住民、関係機関と各相談支援事業が地域の高齢者や家族への重層的な支援について具体的な解決を図り関係機関の連携強化につなげるため、地域ケア会議を開催。
地域ケア会議：年16回
- ・専門家、地域での支援者、介護保険事業者、行政、地域包括による事例検証および課題抽出のため、各々会議を開催。
振り返り会議：年2回、課題抽出会議：年2回
- ・地域包括が主体となり地域住民や各相談支援事業者が、地域包括圏域内の高齢者を支援できるシステムの構築、地域ネットワーク強化をめざし校区ケア会議や小圏域会議を開催。
見守り相談室等が参画した校区ケア会議や小圏域会議：年49回
- ・地域へ出ることが多い配達・配送を主とする民間事業者と連携し、異変を感じるがあれば連絡いただけるよう協力関係を構築しており通報事例等を共有するため定期的に会議を開催しました。
地域で孤立死をなくす民間事業者との連携検討会議「つながっていくの」：年3回
「つながっていくの」構成団体：区役所、区社会福祉協議会、区内4地域包括支援センター
- ・フードバンクを活用した食糧支援。
区内の低所得者等が、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に再び自立できる機会とすることを目的としてフードバンクを活用した食糧支援を実施しました。
見守り相談室で面談・訪問：面談76件、訪問48件
- ・共同募金を活用した乳幼児・子育て世帯への支援。
上記以外で緊急かつ一時的に生活困難になった乳幼児・子育て世帯へ衛生物品等の現物提供による支援を実施しました。
見守り相談室で支援した乳幼児・子育て世帯：5世帯（大人7名、子ども10名）
- ・大阪北部地震災害時に要援護者名簿を活用した訪問等による安否確認。
要援護者名簿の中で視聴覚障がいがある方：111名
見守り相談室で見守りメールに登録している認知症の独居高齢者：67名

【重点】3 災害時の支援

増加する災害に備え、災害ボランティアセンターの基盤整備に積極的に取り組むとともに、行政等との連携、協働により災害時における要援護者の把握と地域ぐるみの支援の促進に努めました。

- ・9月1日 岡山県倉敷市に向けて、ボランティアバス運行
天王寺区社協と共催し、台風被害で水の被害の大きかった倉敷市真備の災害ボランティアセンターを拠点に、ボランティア活動を行う（参加者 26 名）
- ・9月22日 ミニ災害ボランティア開催。
台風 24 号の風害を受けて、ニーズの聞き取り、災害ボラセンでマッチングを行い、ボランティアで対応。ニーズ 5 件。ボランティア 10 名
- ・9月26日 被災者向けの法律相談会開催
災害対応に必要な法律問題の講座を開催し、午後から弁護士による個別相談会を実施しました。（参加者 18 人）
- ・5月～2月 防災勉強会・防災訓練にNPO団体も一緒に参加。（生野南・東中川・小路）
- ・11月18日 「第5回生野防災フェスタ」 生野区赤十字奉仕団と生野区社会福祉施設連絡会が合同で開催。施設連事務局として参加。イベントを運営することで地域と施設の相互理解を図りました。
- ・2月23日 防災イベント 生野区在宅サービスセンターにて
輪母ネットワーク・地域共生ケア生野推進委員会・学童期子ども支援連絡会等と共催し「誰も取り残されない防災を考える」会を開催。災害時に自助共助互助を目標に災害に備える事を考えるきっかけとなりました。（参加者 230 名）

【重点】4 精神障がいを理解する

「地域で自分らしく生きる」を考える実行委員会立ち上げ、区民・障がい当事者・支援事業所・当事者家族等を含めて3回の講座を開催しました。

- ・9月30日 「むかしM a t t o oのまちがあった」上映会&小村絹恵さんの講演予定
→台風 24 号接近のため、1月12日に順延（130名参加）
- ・11月17日 アール・ブリュット展&当事者ライブ（200名参加）
- ・1月27日 「オキナワへいこう」上映会・ひとりひとりの人パネル展と「地域で自分らしく生きる」実行委員会とふりかえり（180名参加）



「オキナワへいこう」大西暢夫監督



アール・ブリュット展

【重点】 5 生活支援サービスの取組みを推進

平成 28 年 9 月より、大阪市から委託を受け「多様な主体による生活支援・サービスの充実を図る」ことを目的に実施。社会資源（住民主体の居場所）の創出、ボランティアグループの立ち上げを支援しました。また、協議体の主催による「支え合うってなんだろう？ 地域のお宝発表会」を開催し、互助の取組みの大切さ（住民主体）や、地域でのお宝を発表、普段の暮らしぶりから支え合いをおこなっている事例をとりあげました。

1 介護予防の取組み

(1) ボランティア講座の開催

①男性の居場所（栽培ボランティア養成講座）開催

定年退職後 75 歳までの男性を対象に講座開催しました。講座受講者は、ご自身の地域に戻って、居場所を作れるように支援しました。

ボランティア講座：8/23～3/22（全 15 回開催）

②スマホ講師養成講座の開催

生野区在住 65 才以上の方を対象にスマホ講座を開催しました。受講者は、地域でボランティア講師を担い、スマホを通じてコミュニティ作りができるよう支援しました。

スマホ講師養成講座：11/5～12/12（全 7 回開催）

スマホ講師養成講座フォローアップ研修：2/7～2/26（全 4 回開催）

(2) 活動の場づくり

①地域での百歳体操の立ち上げ支援

②地域で 90 歳以上限定のお話し広場立上げ支援

③生野区老人福祉センターと共催で「相撲甚句サークル」立上げ支援

④介護予防ポイント事業（施設・在宅コース）への協力

(3) ネットワーク化

- ・食と農のプロジェクト会議に参画
- ・福祉有償運送会議に参画

(4) 情報の発信

- ・「いくのでいこう（憩う）」の発行・・・第 6 号発行

区内の社会参加の場、拠点情報や生活支援の活動などを掲載

(5) ニーズと地域資源の把握

- ・多職種で地域アセスメント勉強会開催

2 生活支援の取組み

生野区の交通手段の課題

- ・ボランティアグループ「お出かけ支援」の立ち上げ支援・会議開催

実 施 事 業

【地域活動推進】

1 法人の運営

〔自主財源づくり〕

(1) 会員制度の充実強化（組織構成会員制度の定着化、賛助会員・住民会員募集の強化）

広報・周知活動

- ・6月 「ふれあい生野」第57号に賛助会員募集案内を掲載
- ・7月 賛助会員及び組織構成会員への30年度の案内

(2) 地域福祉の推進と一体となった自主財源づくり

区社協会員、賛助会員の拡充を図るとともに、企業や事業所へ寄付の働きかけを行うなど、善意銀行を窓口にした地域福祉活動財源づくりを積極的に進めました。

- ・平成30年度会員会費
住民会員（一口千円） 個人 61名、 町会 196
- ・賛助会員（一口1万円） 団体 29 法人 32
- ・善意銀行への寄付（預託）の呼びかけの実施

(3) 共同募金運動の推進

- ・5月14日 区共同募金運営委員会の開催
- ・9月11日 区役所へ共同募金運動への協力依頼
- ・7月18日 区地域振興会連合振興町会長会
共同募金戸別募金等の協力依頼
- ・9月8日 各学校（園）へ共同募金運動の啓発・学校募金の依頼
- ・10月1日 共同募金運動開始
- ・11月～ 各募金の受付・とりまとめ
- ・1月12日 平成30年度共同募金運動実績報告（府共同募金会）

2 通 年 事 業

| 事 業 名 | 事 業 内 容 | 備 考 |
|-------------------|---|------------------|
| 広報紙 「ふれあい生野」発行 | ・「ふれあい生野」第57号(6月)、第58号(10月)、第59号(1月)を発行 ・校下社協編集委員参加のもと編集委員会(5/14、9/21、12/17)を開催、企画を行い作成 ・朝日、大阪日日、産経、日経、毎日、読売新聞への折り込みによる配布 | 作成部数 44,000部 |
| 社会福祉施設 支援・協働事業 | ・災害時の施設内での取り組みや地域とともに考える防災の取り組み ①地域防災と社会福祉施設とのかかわりについての研修会 | 生野区社会福祉 施設連絡会 |

| | | |
|----------------|--|--------------------------------|
| | <p>②生野区社会福祉施設連絡会・生野区赤十字奉仕団合同防災イベント「いくの防災フェスタ～施設と地域の顔の見える関係を拓げていきたい～」では、地域の取組み、防災の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰でもが参加できる生野区ふれあいコンサートを実施(9/23) ・施設間の交流を目的にファシリテーションボールメソッド研修(7/8)を開催 ・役員会(計8回)、総会(4/27)を開催し、事業実施内容などを協議 | |
| ふとん丸洗い乾燥サービス事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・各校下社協会長・民生委員長・関係機関等に広く周知し、重度障がい者世帯を対象として、利用者に一部負担をいただき、ふとん丸洗い乾燥を実施 ・高齢者世帯については、大阪市の事業実施主体として社会法人およびNPO法人施設2事業者共同で実施 申込期間 11月5日(月)～11月24日(土) 実施期間 1月15日(火)～2月2日(土) 平成30年度 区社協分サービス利用者数…4名 | ふとん丸洗い乾燥委託業務 |
| 各研修会開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・6月30日(金) 衛生研修会 | |
| おもちゃ図書館おもちゃの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・区内の子育てサロン・サークル、幼稚園、子ども・子育てプラザ・区まちづくりセンター・地域活動協議会・いくのっ子応援事業実行委員会などを対象におもちゃの貸出しを行った。 ・第4土曜日『地域共生サロン全員集合!』にて遊びスペースとして活用 | ボランティアグループ「輪母ネットワーク」協力 貸出6件 |
| 車いす貸出事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・一時的に車いすを必要とする区民や車いす体験等の福祉研修用に貸出しを行った。 | 個人 78件 学校・団体 5件 |
| パソコン等物品貸出事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・校下社協などで防災訓練や防災講演会などの実施時、必要物品の貸出しを行った。 | 貸出12件 |
| 生野まつりへの参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい喫茶の周知を目的に、「ふれあい喫茶無料チケット」を配布し、各校下において170枚の使用があった。 | 19校下 |

3 会 議

| 日 時 | 会 議 | 会 議 内 容 | 場 所 |
|------------------|--------------------------------------|---|------------------------------|
| 5月30日 14時00分～ | 理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告(案)について ・平成29年度決算報告(案)ならびに監査報告について ・理事・監事の推薦(案)について ・参与・相談役の選任(案)について ・定款の変更(案)について ・定時評議員会の開催(案)について ・その他 | 生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室 |
| 6月27日 14時00分～ | 評議員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告(案)について ・平成29年度決算報告(案)ならびに監査報告について ・理事の推薦(案)について ・定款の変更(案)について ・その他 | 生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室 |
| 6月27日 15時30分～ | 第1回 校下社協会長・ ネットワーク委 員長 合同会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・助成金について ・平成29年度 区社協における福祉コーディネーターについて ・見守り相談室について ・防災を通じた地域とNPOの連携について ・生活支援体制整備事業について ・衛生研修について ・衛生三角巾の配付について ・その他 | 生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室 |
| 2月8日 10時30分～ | 第2回 校下社協会長・ ネットワーク委 員長 合同会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業について ・各種表彰の推薦について ・アンケートのお願い ・その他 | 生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室 |
| 3月14日 14時00分～ | 理事会 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画(案)について ・平成31年度予算(案)について ・「諸規則の一部改正(案)」、「専決規程の一部改正(案)」、「個人情報保護規程の一部改正(案)」、「常勤嘱託就業規則及び非常勤就業規則の一部改正(案)」について ・定時評議員会の開催(案)について ・その他 | 生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室 |

| | | | |
|--------------------------|-------------|--|--------------------------------------|
| <p>3月27日 14時00分～</p> | <p>評議員会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画（案）について ・平成31年度予算（案）について ・「諸規則の一部改正（案）」、「専決規程の一部改正（案）」、「個人情報保護規程の一部改正（案）」 「常勤嘱託就業規則及び非常勤就業規則の一部改正（案）」について ・その他 | <p>生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室</p> |
|--------------------------|-------------|--|--------------------------------------|

【その他会議への参加】

- 各校下社会福祉協議会・各まちづくり協議会関連会議・研修への参加・支援
- 生野区子育て支援会議・地域共生ケア生野推進委員会への参加
- 各種連絡会（児童虐待防止連絡会議、地域自立支援協議会、くらしのリセット会議、孤立死を防ぐための民間業者との連携会議、学童期のこども支援連絡会、いくのっ子応援事業実行委員会、音でつながる地域交流会、食と農のプロジェクトをすすめる会・NPO連絡会）への参画

善意銀行事業報告

市民や団体、企業のみなさまから預託（寄付）された現金や物品を基に、「善意銀行」を設置し、助成金や物品の払出を行うことにより、預託いただいたみなさまの善意を地域福祉活動やボランティア活動の推進のために活用しました。

1 善意銀行事業について

<金銭口座>

| | | |
|-------------------------|--------------------------------|---------------|
| 預 託 | 9 件 | 計 790,730 円 |
| 払 出（助成事業等） | 28 件 | 計 1,580,000 円 |
| 〈助成先〉 | 〈対象事業〉 | 〈金額〉 |
| 平成 30 年度善意銀行助成事業 | 区内 5 団体 | 590,000 円 |
| 福祉ボランティア活動応援資金 | 区内の福祉ボランティア活動 (23 の団体・グループ) | 920,000 円 |
| 社会福祉法人 いわき学園 いわき生野学園 | | 70,000 円 |

<物品口座>

| | | |
|-----|-------|---|
| 預 託 | 14 件 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウエス（3 件） ・米 910 kg ・男性用衣類 ・マンガ本 ・アクリル絵の具、ポスターカラー ・フリーズドライ食品 ・ポータブルトイレ ・紙おむつ ・石鹸 |
| 払 出 | 32 ヶ所 | <ul style="list-style-type: none"> ・あじさいの里（ポータブルトイレ） ・生野区地域包括支援センター（男性用衣類） ・デイサービスセンターおかちやま（紙おむつ） ・17 校下（食サ、子ども食堂等実施地域） ・食サ 2・校下社協 2・6 施設（お米） ・見守り相談室・生活困窮者自立支援（精米） |

2 善意銀行運営委員会の開催について

| 日時 | 会議内容 | 場所 |
|---------------------------------|--|--------------------------|
| 5 月 14 日 13 時 30 分～14 時 00 分 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 善意銀行事業実績報告 ・平成 30 年度 善意銀行「特定テーマ」払出「福祉ボランティア活動応援資金」払出先の審査について ・平成 30 年度 善意銀行助成事業の募集について | 生野区在宅サービスセンター 2 階多目的室 |
| 8 月 28 日 14 時 00 分～15 時 40 分 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度 善意銀行事業 決算報告 ・平成 30 年度 善意銀行 助成事業 助成金払出について | 生野区在宅サービスセンター 2 階多目的室 |

共同募金配分金事業報告

地域福祉の向上を目的とした共同募金会からの配分金を基に、区社協活動の充実強化と各種グループ・団体への活動助成を行いました。

共同募金配分金の使途については、共同募金運営委員会を開催し、検討するとともに、生野区ふれあい事業等助成金交付について審査を行いました。

1 共同募金配分金事業について

| 主 な 使 途 | 備 考 |
|--------------------------------------|---|
| 校下社協育成事業 | 校下社会福祉協議会への助成金。 (国勢調査をもとに、各校下単位に配分金額を算出) |
| 生野区ふれあい事業等助成金 | 生野区内の団体、NPO、ボランティアグループ等が実施する地域福祉推進を目指す事業に対して助成金を交付。28 団体へ助成。 |
| 区民まつりにおける福祉活動啓発 | 「区民まつり」における区社協ブースにおいて、ふれあい喫茶実施及び、区社協事業及び校下社協活動の周知・啓発。 |
| 地域共生ケア事業助成金 | 校下社会福祉協議会等がおこなう、高齢者、障がい者、子どもと一緒に集う地域共生方の場づくりや世代間交流等の行事に対して助成金を交付。 21 団体へ助成。 |
| 広報啓発事業 | 広報紙の発行やパンフレット、ホームページの更新等、区社協事業の啓発を行いました。 |
| 「夏場の衛生 食中毒予防～安全・安心な地域の活動のために～」(衛生研修) | 喫茶や食事サービス等の地域活動者に向けて衛生研修会を夏・冬前に開催。 6 月：19 校下 37 名 |
| ふとん丸洗い・乾燥サービス | 障がいのある方で、ふとん干しができない方に対しふとん丸洗い・乾燥の経費を助成。4 名 (ふとん 6 枚・毛布 1 枚) |
| 災害ボランティア活動支援センター設置・運営準備事業 | 大規模災害に対応できるよう備蓄物品を購入しました。また、防災フェスタにて、啓発のための風船を購入しました。 |
| 緊急食料等提供事業 | 生野区内に居住している低所得者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に食料等の生活に必要な現物を提供することにより、一時的な生活支援をおこない、再び自立できる機会とすることを目的として、2,000 円以内で食料を提供しました。 2 件 15 名。 |
| ボランティア育成事業 | 喫茶・ふれあい型高齢者食事サービス実施団体へ、検便費の助成。 16 団体 延べ 450 名分。事業実施のために必要な衛生物品を助成しました。 |
| 地域の居場所作りへの支援事業 | 地域の活動者に対し、三角巾の購入。 |
| 地域福祉の出前講座 | 大学の講師を招き、レクリエーションを通して、コミュニケーションをとることで人とのつながりを大切にする講座を開催しました。 |

| | |
|----------|---|
| 福祉教育推進事業 | 専門講師による福祉教育を小中学校で実施しました。 |
| 車いす貸出し事業 | 在宅の生野区民または、施設・団体等に車いすを貸し出すことにより、区民の福祉向上、施設・団体等の地域福祉活動に寄与することを目的として実施しました。 |

2 共同募金運営委員会の開催について

| 日時 | 会議内容 | 場所 |
|------------------------|---|-------------------------|
| 5月14日 13時30分～13時50分 | <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 共同募金配分金事業について 平成30年度 共同募金配分金事業について 校下社協助成金(共同募金)について | 生野区在宅カービズセンター 2階多目的室 |
| 8月28日 15時40分～16時10分 | <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 生野区ふれあい事業等助成金について 校下社協助成金の交付について 地域共生ケア事業助成金の交付について 平成30年度 共同募金運動について | 生野区在宅カービズセンター 2階多目的室 |

ボランティア・市民活動センター事業報告

生野区ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動や市民活動の活性化と地域福祉の増進を目的として、区内で活動をしているボランティア団体や市民活動を行っている団体へ、様々な相談や支援しました。

事業についての運営、活性化を図るために、12名の委員で構成される運営委員会を設けており、30年度は8月4日に開催しました。

1 ボランティア利用登録者数

| 個人利用登録 | | グループ利用登録 | |
|---------|---------|----------------|----------------|
| 新規利用登録者 | 利用登録者総数 | 新規利用登録 グループ | 利用登録 グループ総数 |
| 12名 | 57名 | 10グループ | 61グループ |

2 広報・啓発事業

| | 事業名称 | 備考（内容・啓発先等） |
|---|---|-----------------------------|
| 1 | 生野区ボランティア・市民活動センターだよりの発行（区社協広報誌「ふれあい生野」4面に掲載） | グループ紹介・活動募集等／関係機関（年3回） |
| 2 | 区社協広報誌「ふれあい生野」による広報・啓発 | 地域活動紹介等／新聞折込、関係機関（年3回） |
| 3 | 生野区社会福祉協議会ホームページ・フェイスブックの活用 | 各講習会、活動募集記事、ボランティアグループの活動掲載 |

3 ボランティア養成事業

| | 事業名称 | 備考（内容・延べ参加人数等） |
|---|---|--|
| 1 | 傾聴ボランティア養成講座（全3回） 7/3、10、31 講師：吹田傾聴「ほほえみ」 代表：長谷川美津代氏 | 傾聴ボランティアについて 高齢者、認知症について ロールプレイ、施設実習 各回15回、延べ75名 登録者9名 |
| 2 | 音訳ボランティア養成講座（全5回） 10/16、23、30、11/6、13 講師：松崎 明美氏 | 発声・発音・アクセントの基礎 詩、時代小説、絵本の朗読 参加者 延べ14名 |
| 3 | 点訳ボランティア養成講座（全17回） 10/6～H31/2/16 | 点訳の基礎、点字器を使用しての実習、パソコン点訳の実習、講演会 参加者 延べ50名 |
| 4 | 在日高齢者支援ボランティア養成講座（全5回） 11/17、24、12/1、8、15 | 在日コリアン講座の意義・目的、歴史と文化の実際、高齢者の生活、当 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 事者のお話、健康と生活、体験学習、ボランティアによる支援、参加者交流会 参加者 延べ60名 |
| 5 | スマホ講師養成講座(全7回) 11/5、13、19、26、12/7、8、12 | スマホ機能、アプリの使い方 地域社会の現状とボランティア活動への期待 参加者 延べ92名(聴講生含む) |
| 6 | 栽培ボランティア養成講座(全12回) 9/6～H31/2/22 | 野菜栽培の基礎、種まき 収穫野菜でピザ 参加者 延べ144名 |
| 7 | ボランティアグループ「サロンアイ」 発達障がい講座(全4回) H31/2/9、16、3/2、9 | 発達障がいの理解と支援 大人の発達障がい 発達障がいについて皆で考える |

4 活動支援事業

| | 事業名称 | 備考(内容・延べ参加人数等) |
|---|-------------------------|--|
| 1 | ボランティアルーム貸出 コピー機の活用 | 延べ456グループ 登録グループ無料利用(用紙持込み) |
| 2 | 施設向けボランティアコーディネーション講座開催 | 施設と地域をつなぐボランティアのチカラを上手に生かすコーディネートポイントを学ぶ 参加者 高齢施設、障がい施設、子ども施設の職員計7名 講師：新崎国広氏(大阪教育大学教授) |
| 3 | 地域共生サロン「全員集合！」 | 地域共生ケア生野推進委員会の「たまり場づくり事業」のモデルとして毎月第4土曜日に開催。障がいがあってもなくても、国籍が違ってても、おとなも子どもも一緒に安心してすごせる場として展開。 |
| 4 | ボランティアバスの運行 | 7月の豪雨災害により被災した倉敷市への災害支援をおこなうために、天王寺区社会福祉協議会と共催でボランティアバスを運行。 9月1日(土) ボランティア参加者8名 |
| 5 | 災害ボランティアセンター開設 | 台風21号により生野区内で被災した家屋の片づけ等の困りごとに対して、災害ボランティアセンターを開設 9月22日(土)10時～14時 ニーズ4件 ボランティア10名 |

| | | |
|---|-----------|--|
| 6 | ボランティア交流会 | 事務連絡 ボランティア活動者から発表 各活動紹介 参加者 22 名 |
|---|-----------|--|

5 協働・共催事業について

| | 事業名称 | 協働・共催団体 |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 台風 21 号 被災者向け 無料 学習会(Q&A)・法律相談 | なんでも相談いらっしや〜い 講師：島村美樹弁護士、伊豆浩幸弁護士 場所：生野区社会福祉協議会 相談者：18 名 |
| 2 | アールブリュット展 | 「地域で自分らしく生きる」をめざす実行委員会 場所：生野区民センター 参加者：180 名 |
| 3 | 「むかしMattoのまちがあった」 +小村絹恵さんの講演 | 「地域で自分らしく生きる」をめざす実行委員会 場所：生野区民センター お話：小村絹恵氏(佛教大学非常勤講師) 参加者：130 名 |
| 4 | 「オキナワへいこう」+大西暢 夫さんの講演 | 「地域で自分らしく生きる」をめざす実行委員会 場所：生野区民センター お話：大西暢夫氏(写真家・映画監督) 参加者：190 名 |
| 5 | 誰もが取り残されない防災を考 える | 輪母ネットワーク、地域共生ケア生野推進委員会 場所：生野区社会福祉協議会 参加者：250 名 |

6 登録ボランティアグループ一覧（登録用紙提出グループ）

| | グループ名 | 会員 数 | 設立年月 |
|---|---------------------|---------|-------------|
| 1 | あじさいブッククラブ | 17 | 平成 17 年 1 月 |
| 2 | いきいき歌体操生野グループ | 14 | 平成 7 年 4 月 |
| 3 | サロン「アイ」 | 6 | 平成 11 年 4 月 |
| 4 | ハイビスカス | 37 | 平成 14 年 4 月 |
| 5 | ヒューマンサポート・カノン | 16 | 平成 17 年 1 月 |
| 6 | 音訳ボランティアグループ「かたつむり」 | 21 | 平成 12 年 7 月 |
| 7 | がんばろう会 | 20 | 平成 10 年 7 月 |
| 8 | 喫茶ボランティアグループ「いなほ」 | 10 | 平成 11 年 7 月 |
| 9 | 桔梗の会 | 35 | 平成 16 年 6 月 |

| | | | |
|----|-----------------------------------|-----|--------------|
| 10 | 紙芝居「すみれの会」 | 6 | 平成 11 年 4 月 |
| 11 | 来夢来人 | 6 | 平成 14 年 1 月 |
| 12 | 精神保健福祉ボランティアグループ「一期一会」 | 10 | 平成 14 年 3 月 |
| 13 | いのちの根っこ | 8 | 平成 20 年 10 月 |
| 14 | 唄うももの会 | 20 | 平成 22 年 1 月 |
| 15 | カトレア会 | 73 | 平成 4 年 4 月 |
| 16 | 勝山みんなが集うばおひいさん | 10 | 平成 23 年 10 月 |
| 17 | 輪母ネットワーク | 86 | 平成 24 年 5 月 |
| 18 | 小路トッポボールクラブグループハーツ | 60 | 平成 24 年 11 月 |
| 19 | A-y a n!! 関西をアートで盛り上げる NPO | 8 | 平成 17 年 |
| 20 | おおさか・いくの・おもちゃ病院 | 9 | 平成 25 年 6 月 |
| 21 | ピーターパン | 6 | 平成 25 年 6 月 |
| 22 | たんぼぼ | 7 | 平成 25 年 7 月 |
| 23 | みんな de チクチク | 19 | 平成 24 年 6 月 |
| 24 | 傾聴ボランティア 七夏の会 | 16 | 平成 26 年 7 月 |
| 25 | 介護・美容グループひだまり | 11 | 平成 12 年 4 月 |
| 26 | 大阪市音楽コミュニケーションボランティア グループ「ひびき」 | 11 | 平成 6 年 11 月 |
| 27 | 在日コリアン高齢者ボランティアグループ「モヨラ」 | 19 | 平成 26 年 12 月 |
| 28 | 生野手話サークル「レインボー」 | 58 | 平成 7 年 5 月 |
| 29 | 第九町会三味線サークル | 8 | 平成 21 年 11 月 |
| 30 | ひまつぶしの会 | 10 | 平成 24 年 2 月 |
| 31 | 音楽クラブ | 8 | 平成 10 年 2 月 |
| 32 | 生野区食生活改善推進員協議会 | 140 | 昭和 54 年 10 月 |
| 33 | 創笑科 | 5 | 平成 26 年 4 月 |
| 34 | 生野点訳サークル | 12 | 平成 17 年 4 月 |
| 35 | もも・じゃんクラブ | 9 | 平成 29 年 1 月 |
| 36 | Sunny Smile | 5 | 平成 28 年 4 月 |
| 37 | 特定非営利法人 I L Dプロジェクト | 20 | 平成 11 年 11 月 |
| 38 | クレイケアボランティアの会 MARU生野 | 8 | 平成 29 年 11 月 |
| 39 | すずめの会 | 11 | 平成 23 年 1 月 |
| 40 | 「いくの大好きっ子」の会 | 5 | 平成 30 年 2 月 |
| 41 | 大阪市スポーツ推進委員生野協議会 | 30 | 昭和 57 年 5 月 |
| 42 | いくすく子ネット | 5 | 平成 28 年 7 月 |
| 43 | タツノコクラブ | 5 | 平成 29 年 4 月 |
| 44 | コミュニティ・ガーデン nichinichi | 7 | 平成 29 年 2 月 |
| 45 | こころと絆プロジェクト | 7 | 平成 29 年 7 月 |
| 46 | 生野区介護家族ゆとりの会 | 58 | 平成 23 年 4 月 |

| | | | |
|----|---------------------------------------|-----|--------------|
| 47 | 風ぐるま | 8 | 平成 25 年 6 月 |
| 48 | 大阪市生野区少年少女発明クラブ | 10 | 平成 24 年 4 月 |
| 49 | コリアボランティア協会 | 19 | 平成 6 年 1 月 |
| 50 | 手話サークル生野 | 100 | 昭和 57 年 3 月 |
| 51 | 生活習慣予防教室終了の会 ひまわり会 | 150 | 平成 6 年 4 月 |
| 52 | 薪つるのはしまルシェ | 5 | 平成 28 年 9 月 |
| 53 | 薪生野区まち案内人の会 いくナビ | 15 | 平成 24 年 4 月 |
| 54 | 薪生野区在日韓国朝鮮人・多文化共生ネットワーク (じゅうみんという) | 14 | 平成 30 年 4 月 |
| 55 | 薪なんでも相談いらっしゃ〜い | 28 | 平成 30 年 4 月 |
| 56 | 薪クロスベース | 11 | 平成 29 年 4 月 |
| 57 | 薪おはなしひろば | 5 | 平成 28 年 7 月 |
| 58 | 薪はるる企画 | 7 | 平成 30 年 3 月 |
| 59 | 薪ひとことつむぐ | 3 | 平成 30 年 7 月 |
| 60 | 薪IKUNO サラダボウルプロジェクト | 16 | 平成 28 年 12 月 |
| 61 | 薪たつみお出かけ支援の会 | 12 | 平成 30 年 6 月 |

7 ボランティア保険の受付

| ボランティア保険 | | 行事保険 | 非営利有償 活動保険 | 移送中事故 障害保険 |
|----------|---------|----------|---------------|---------------|
| 個人 | グループ | 369 件 | 1 件 | 2 件 |
| 40 名 | 74 件 | 15,361 名 | | |
| | 1,486 名 | | | |

地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業報告

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化、地域におけるつながりの希薄化などを背景に、いわゆる「孤立死」に代表されるような社会的孤立など地域における生活課題は複雑化・多様化・深刻化しています。また、認知症高齢者等が増加するなかで、徘徊により道路や線路内で事故にあうなど深刻な問題が発生しています。

これらの問題を踏まえ、地域と行政が一体となって“誰もが安心して暮らしやすい”地域づくりに向け事業実施しました。

1 地域における要援護者の見守りネットワーク事業

〔実施状況〕

1 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

行政と地域が保有する要援護者の情報を集約し、地域等への情報提供に係る本人の同意を確認して地域の見守り等につなぎました。

(1) 郵送および個別訪問による同意確認

対象者：(高齢)要介護3以上または要介護2以下で日常生活自立度Ⅱ以上の方
(障がい)身体障がい者1・2級の障がい者手帳をお持ちの方。

知的障がい者A・精神障がい者1級・視覚障がい、聴覚障がい

3・4級・音声、言語機能障がい3級・肢体不自由3級のある方

(難病)人工呼吸器装着者等、医療機器等への依存が高い方

対象者数：1,878名

回答数：1,510名(80.4%)

同意：1,329名(88%)、不同意：181名(12%)

未回答：368名(個別訪問により同意確認中 19.6%)

(2) 地域への名簿提供 区内19地域に対し5,420名分を提供

2 孤立世帯等への専門的対応

地域社会との繋がりを持たない、社会から孤立した状態で亡くなる危険性の高い要援護者やセルフネグレクトの状態にある方に対して、見守りネットワーカーがねばり強くアウトリーチを行い、地域の見守り等につなぎました。

〈相談件数〉

| 訪問 | 電話 | 来所 | その他 | 合計 |
|------|--------|------|------|--------|
| 661件 | 1,115件 | 259件 | 145件 | 2,180件 |

〈相談実人員〉

| 相談実人員 | 性別内訳 | | |
|-------|------|------|-----|
| | 男 | 女 | 不明 |
| 795名 | 372名 | 407名 | 16名 |

| 年齢内訳 | | | | | | |
|------|------|-------|-------|-------|------|-----|
| 0～6 | 7～17 | 18～39 | 40～64 | 65～74 | 75～ | 不明 |
| 2名 | 2名 | 50名 | 136名 | 139名 | 432名 | 33名 |

《属性内訳》

- ・要支援・要介護の高齢者：487名
- ・要支援・要介護以外の高齢者：105名
- ・生活困窮者：74名
- ・難病：0名
- ・引きこもり：0名
- ・子育て中の保護者：5名
- ・身体障がい者・児：37名
- ・知的障がい者・児：28名
- ・精神障がい者・児：34名
- ・発達障がい者・児：0名
- ・ゴミ屋敷：3名
- ・その他：22名

《ケース会議》

- ・個別ケース会議の開催 5回
- ・個別ケース会議への出席 49回

3 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

事前に登録している認知症高齢者が行方不明になった場合に、氏名や身体的特徴等の情報をメール・FAXにより協力者に配信し、行方不明時の早期発見につなげました。

協力者：区内地域包括支援センター（4か所）、ブランチ（2か所）

民生委員・児童委員（156名）

【交通機関】区内各地下鉄駅、市バス、阪急電鉄、阪神電気鉄道、南海電気鉄道、近畿日本鉄道

【企業】株式会社セブンイレブン・ジャパン、明治安田生命保険相互会社
株式会社テイコク製薬会社、第一交通株式会社

登録者累計：228名

【性別内訳】男性：95名、女性：133名

【年齢内訳】75歳以上：189名、65～74歳：0名、65未満：5名

※機能①から認知症のご家族を抱えるお宅へ訪問し事業説明を実施しました。

個別に訪問し事業説明をすることで現在も登録者数は増加しています。

2 各種会議等への参画

(1) 地域自立支援協議会への参画

【実施状況】（年4回）

- ・障がい者が抱える課題を行政主体に解決に向け検討

(2) 障がい者虐待防止連絡協議会への参画

【実施状況】（年1回）

- ・大阪市（生野区含む）における障がい者虐待の状況について区役所より、平成29年度障がい者虐待対応状況及び虐待防止にかかる取り組み報告

(3) 生野区くらしリセット連絡会議（いくくら会議）への参画

【実施状況】（年6回）

- ・連絡会議（隔月1回）に参画
区役所、区内地域包括支援センター、区障がい者相談支援センターとともに住居における堆積問題について、関連機関と情報交換および支援方法について協議

(4) 生野区見守りプロジェクトチーム会議への参画

〔実施状況〕(年6回)

- ・連絡会議(隔月1回)に参画
区役所、区内地域包括支援センター、区障がい者相談支援センターとともに地域における見守りの仕組みづくりに取り組むため、行政や関係機関と情報交換および見守り体制構築に向け協議

(5) 民間事業者との連携による孤独死防止の取組み

〔実施状況〕(年3回)

- ・「つながっていくの」連絡会を開催し、各地域包括、区役所と情報交換、共有をおこなうとともに啓発について協議
- ・協力連携関係にあるライフライン事業所へ実際に地域を回る配達員等を対象にアンケート調査を実施しました。

(6) 認知症サポーター養成講座の開催

〔実施状況〕

- ・認知症になっても誰もが安心して、暮らせるまちづくりのために、認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者(サポーター)を養成する講座を開催しました。

開催回数：36回

受講者数：1,186名

《受講者内訳》

住 民：12回 252名 区役所：2回 43名

学 校：20回 866名 企 業：2回 25名

地域ボランティアによる福祉のまちづくり「ご近“助” パワフルサポート事業」

地域の身近な福祉相談窓口として、各地域に福祉コーディネーターを配置し真に支援を必要とする人と地域におけるボランティアのマッチングを支援するとともに、見守り支援が必要な人を地域の支援の輪に繋げ、地域住民同士が助け合う福祉のまちづくりが自発的に推進されるよう事業実施しました。

1 相談件数等

- (1) 相談受付：1,531件（地域住民：1,003件、関係機関：315件、その他：213件）
- (2) コーディネート：9,164件
- (3) マッチング等 4,583件
- (4) ボランティア登録者数：194名（新規：17名）

《相談対応事例》

○90代女性より

高齢で一人暮らしの女性より、「高い所の窓ふきが出来なくなり困っている。」の相談。地域の会館行事でつながりのある日本語学校の学生が、ボランティア活動に関心があり教員に相談。日本語を学習中の生徒なので、福祉コーディネーターと教員も同席し活動を実施。丁寧な作業ぶりに依頼者も喜ばれ、積極的にコミュニケーションを取っていた。学校としてもボランティア活動を推奨しているので、授業の合間で調整ができれば、継続して活動可能。

○70代女性より

以前体調を崩し依頼者として「ご近“助” パワフルサポート事業」を利用していた方が、お元気になりボランティアとして登録。その後「引っ越しの荷ほどきを手伝ってほしい。」という依頼に応じ、活動を実施。同世代で家も近く、お互い一人暮らしだった依頼者とボランティアが、その後も会館の行事と一緒に参加し、友人として行き帰を続けている。

○70代女性より

「見守り相談室」より、地域とつながりのない独居女性について相談があり、本人・包括・連合女性部長・まち協事務局でケア会議を開催。「いくみんキーホルダー」の手続き、会館の「食事サービス」・「ふれあい喫茶」に参加の声かけ等、各々の役割を分担しつつ「見守りのネットワーク」を続ける。

○70代女性より

生野区内に転居してきた70代女性が、自宅の庭で野良猫が糞尿をして困っていたところ、近所の民生委員が声をかけてくれた。民生委員より福祉コーディネーターに連絡があり、町会長に伝えたところ会長から既に野良猫に餌を与える人に辞めて貰うよう話をしていた。普段から見守りをして貰っている事がわかり、依頼者が心強く思った。

2 見守り活動等

- (1) 区社協・関係機関・団体等との連携による見守り活動を実施しました。
- (2) 福祉コーディネーターの個別の対応ケースについて、「まちづくり協議会」の定例会議で報告し情報交換を行いました。
- (3) 大阪北部地震や台風による災害時には、コーディネーターが地域の見守りの要としてネットワーク委員やボランティアを組織し、いち早く校下内の安否確認を行った。災害直後の困りごとを地域内で解決するよう調整を行いました。

3 会 議 等

- (1) 定例連絡会：毎月第1水曜日基本に各地域福祉コーディネーターの連絡会を開催し、各地域の情報および相談対応について共有。
- (2) 定例連絡会后、福祉コーディネーターが「広報・研修会・交流会」の3グループに分かれ、各々で企画検討会議を実施。ボランティアとの交流会では、「新たな担い手づくり」について地域を越えた情報交換・交流をテーマとしたワークショップを開催しました。



ボランティア交流会



ご近所のつながりづくり

生活困窮者自立支援事業（くらしの相談窓口）

経済的困窮と社会的孤立など、課題が複合していることが多い生活困窮者に対し、生活全般をとらえた総合的な支援に努め、総合相談、生活支援の取り組みを強化するとともに、深刻な生活課題については地域の課題として共有化を図り、解決に向けた検討を行いました。

- ・平成 30 年度に大阪市生活困窮者自立相談支援事業（生野区、委託延長期間 1 年間）を受託
- ・平成 30 年度に大阪市こどもサポートネット（生野区生活困窮者自立相談支援事業）（生野区、モデル事業委託期間 1 年間）を受託

「仕事がなかなか見つからない」「働くことに自信がなく不安がある」「子どもがひきこもりで将来が心配」などのさまざまな理由により生活に困窮している方の相談を受け、必要に応じ各種支援機関や制度につなぎ、自立に向けた支援を実施しました。

〈生活自立支援相談窓口 実施状況報告〉

(H30 年 4 月 1 日～H31 年 3 月 31 日)

【相談対応件数】（本人未特定相談を含む）

| 年 齢 | 10 代 | 20 代 | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60～ 64 歳 | 65 歳 以上 | 不明 | 合 計 |
|------|------|------|------|------|------|-------------|------------|----|-----|
| 新規受付 | 4 | 31 | 39 | 71 | 66 | 30 | 130 | 13 | 384 |
| 仮受付 | 1 | 2 | 3 | 6 | 5 | 2 | 6 | 77 | 102 |
| 合 計 | 5 | 33 | 42 | 77 | 71 | 32 | 136 | 90 | 486 |

【相談経路】（本人特定のみ、本人同意有のみ）

| 相 談 経 路 | 年間合計 |
|---------------|------|
| 本人自ら連絡（来所） | 202 |
| 本人自ら連絡（電話） | 7 |
| 家族・知人から連絡（来所） | 5 |
| 家族・知人から連絡（電話） | 1 |
| 自立相談支援機関が把握 | 1 |
| 関係機関・関係者紹介 | 91 |
| そ の 他 | 0 |
| 合 計 | 307 |

【相談の内容】

| 困りごとの件数(重複回答) | | | |
|---------------|-----|--------------|----|
| 病気 | 139 | コミュニケーションが苦手 | 12 |
| 住まい不安定 | 61 | DV・虐待 | 12 |
| 経済的困窮 | 269 | けが | 10 |

| | | | |
|---------------|----|---------------------|-------|
| 家族関係・家族の問題 | 99 | 中卒・高校中退 | 9 |
| その他メンタルヘルスの課題 | 81 | 社会的孤立（ニート・引きこもりを含む） | 26 |
| (多重・過重)債務 | 41 | 生活習慣の乱れ | 7 |
| 就職活動困難 | 49 | 本人の能力の課題（識字・言語・理解等） | 9 |
| 障害(手帳有) | 39 | 自死企図 | 7 |
| 介護 | 35 | 被災 | 5 |
| 子育て | 28 | 刑余者 | 5 |
| 外国籍 | 24 | 不登校 | 5 |
| ひとり親 | 23 | ホームレス | 3 |
| 障害(疑い) | 23 | 非行 | 0 |
| 就職定着困難 | 19 | その他 | 52 |
| 家計管理の課題 | 16 | | |
| | | 合 計 | 1,108 |

- ・経済的困窮が約7割
- ・病気が4割弱
- ・家族関係・家族の問題が3割弱
- ・8割強の世帯が複数の課題を抱えている

【プランに関わる関係機関・関係者】（継続支援者でプラン作成分のうち）

| | |
|------------------------------|----|
| プランの支援決定・確認ケース数（初回プランのみ） | 63 |
| 福祉事務所（生活保護担当部署） | 19 |
| 行政の子ども家庭担当部署 | 4 |
| 行政の高齢担当部署 | 1 |
| 行政の障害担当部署 | 5 |
| 行政の税担当部署 | 2 |
| 行政の保険・年金担当部署 | 12 |
| その他行政の担当部署 | 6 |
| ハローワーク | 22 |
| 職業訓練機関 | 1 |
| 就労支援をしている各種の法人・団体（就労訓練事業を含む） | 5 |
| 医療機関 | 33 |
| 地域包括支援センター | 6 |
| 居宅介護支援事業所・その他介護事業所 | 7 |
| 保健所・保健センター・精神保健福祉センター | 6 |
| 家庭児童相談室（福祉事務所） | 1 |

| | |
|--------------------------------|-----|
| 障害者就労支援事業所 | 2 |
| その他障害者支援機関・施設 | 2 |
| 学校・教育機関 | 3 |
| 地域若者サポートステーション | 1 |
| 地域子育て支援センター・その他子育て支援機関 | 2 |
| 男女共同参画センター・婦人相談所・配偶者暴力相談支援センター | 1 |
| 児童相談所・児童家庭支援センター | 1 |
| 小口貸付 | 7 |
| 権利擁護・成年後見 | 2 |
| 社会福祉協議会（小口、権利擁護以外） | 38 |
| 法テラス・弁護士（会）・司法書士会 | 22 |
| 民生委員・児童委員 | 1 |
| NPO・ボランティア団体 | 1 |
| 町内会・自治会、福祉委員、近隣住民 | 1 |
| その他 | 2 |
| 合 計 | 279 |

【支援実績（支援実施延べ回数）】

| | 年間合計 |
|----------------------|------|
| 電話相談・連絡 | 899 |
| 訪問・同行支援 | 207 |
| 面談 | 955 |
| 所内会議 | 7 |
| 支援調整会議（プラン策定） | 73 |
| 支援調整会議（評価実施） | 66 |
| その他他機関との会議（支援調整会議以外） | 13 |
| 他機関との電話照会・協議 | 749 |
| その他 | 42 |

生活福祉資金貸付事業報告

1 生活福祉資金福祉資金（含む教育資金）

| | 電話相談 | 窓口相談 | 申込用紙交付 | 貸付件数 | 不承認数 (含む取下) | 償還対応 | 完済 (含む移管) | 自立支援連携 |
|-----|-------|------|--------|------|----------------|------|--------------|--------|
| 4月 | 106 | 45 | 7 | 6 | 0 | 17 | 1 | 2 |
| 5月 | 60 | 27 | 6 | 4 | 1 | 40 | 0 | 0 |
| 6月 | 60 | 16 | 3 | 1 | 0 | 26 | 6 | 1 |
| 7月 | 138 | 41 | 7 | 4 | 1 | 30 | 0 | 0 |
| 8月 | 94 | 36 | 7 | 5 | 1 | 48 | 1 | 7 |
| 9月 | 54 | 16 | 3 | 1 | 0 | 68 | 2 | 3 |
| 10月 | 112 | 39 | 7 | 3 | 0 | 39 | 4 | 3 |
| 11月 | 111 | 40 | 6 | 9 | 0 | 43 | 0 | 3 |
| 12月 | 65 | 24 | 3 | 4 | 0 | 57 | 14 | 3 |
| 1月 | 64 | 39 | 10 | 4 | 0 | 34 | 0 | 2 |
| 2月 | 109 | 43 | 7 | 6 | 1 | 53 | 1 | 0 |
| 3月 | 109 | 47 | 11 | 7 | 0 | 32 | 6 | 0 |
| 合計 | 1,082 | 413 | 77 | 54 | 4 | 487 | 35 | 24 |

(相談件数は延べ人数)

2 緊急小口資金(H28.4月～貸付開始)

| | 電話相談 | 窓口相談 | 申込用紙交付 | 貸付件数 | 不承認数 (含む取下) | 償還対応 | 完済 (含む移管) | 自立支援連携 |
|-----|------|------|--------|------|----------------|------|--------------|--------|
| 4月 | 16 | 9 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 14 |
| 5月 | 18 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 19 |
| 6月 | 29 | 11 | 1 | 2 | 0 | 0 | 4 | 15 |
| 7月 | 73 | 13 | 5 | 3 | 0 | 0 | 1 | 45 |
| 8月 | 21 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| 9月 | 14 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 12 |
| 10月 | 40 | 12 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35 |
| 11月 | 54 | 10 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 33 |
| 12月 | 10 | 5 | 2 | 1 | 0 | 0 | 5 | 10 |
| 1月 | 28 | 10 | 3 | 1 | 0 | 2 | 2 | 20 |
| 2月 | 39 | 20 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 26 |
| 3月 | 10 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| 合計 | 352 | 108 | 22 | 11 | 1 | 2 | 19 | 252 |

(相談件数は延べ人数)

3 不動産担保貸付(リバースモーゲージ) 一般対象(土地評価額 1000 万円以上)

| | 電話相談 | 窓口相談 | 貸付 申請 | 貸付承認 件数 | 不承認数 (含む取下) | 自立 支援 連携 |
|----------|------|------|----------|------------|----------------|----------------|
| 4-3 月 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 |

(相談件数は延べ人数)

要保護者向け(土地評価額 500 万円以上)の不動産担保貸付
は、区保健福祉センター生活支援受付面接が担当

4 総合支援資金…〈含む離職者支援・臨時特例つなぎ資金〉

| | 電話相談 | 窓口相談 | 申込用 紙交付 | 貸付 件数 | 不承認数 (含む取下) | 償還 対応 | 完済 (移 管) | 自立支 援連携 |
|-----|------|------|------------|----------|----------------|----------|----------------|------------|
| 4月 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 5月 | 8 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 |
| 6月 | 17 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 12 |
| 7月 | 21 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 8月 | 24 | 10 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 16 |
| 9月 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 10月 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 11月 | 22 | 3 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 13 |
| 12月 | 26 | 10 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 11 |
| 1月 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 |
| 2月 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 5 |
| 合計 | 132 | 45 | 7 | 5 | 1 | 11 | 3 | 84 |

(相談件数は延べ人数)

通所介護事業報告

通所介護（デイサービス）事業では、介護保険のサービスとして要支援・要介護の方に通所による食事・入浴・送迎・健康チェック・レクリエーション・生活相談のサービスを提供しました。

集団生活の中で、利用者が社会的孤立しないために、みんなでの楽しい食事・介助入浴など安心してゆったりとした時間を過ごすことができるよう、個別のプランにもとづいて援助しました。

ご家族に対しても、精神的・身体的に介護負担の軽減ができるように支援しました。

1 年間利用状況

| | |
|--------|--------|
| 開設日数 | 243日 |
| 延べ利用人数 | 2,757名 |
| 1日平均 | 11.3名 |

2 月別利用者状況（30年4月～31年3月）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 開設日数 | 20 | 21 | 21 | 21 | 23 | 17 | 22 | 21 | 19 | 19 | 19 | 20 |
| 延べ利用人数 | 220 | 234 | 230 | 241 | 263 | 191 | 246 | 257 | 244 | 222 | 211 | 198 |
| 1日平均 | 11.0 | 11.1 | 11.0 | 11.5 | 11.4 | 11.2 | 11.2 | 12.2 | 12.8 | 11.7 | 11.1 | 9.9 |

3 年間行事

4月 お花見
6月 かくし芸大会（区民ホール）
8月 夏まつり
10月 スポーツ大会（区民ホール）
12月 クリスマス会
2月 作品展（区役所ギャラリー）
毎月 お誕生日会開催・プール学院OGコーラス、フラダンス、
藤間流、音楽ボランティア、歌体操 かみしばい

地域包括支援センター事業報告

1 地域包括支援ネットワークの構築

(1) 地域ケア会議の開催

〔実施状況〕

- | | |
|-----------------|-----|
| ・個別ケース地域ケア会議 | 14回 |
| ・事例検証と振り返り会議 | 1回 |
| ・事例の振り返りと課題抽出会議 | 3回 |

(2) 小圏域会議の開催

〔実施状況〕

- ・ 4月12日（林寺地域）
内 容：なんでも相談から見える地域の課題と今後の連携について
出席者：地域役員、包括
- ・ 4月18日（林寺地域）
内 容：林寺連合の取り組みについて
出席者：地域役員、包括、認知症施策担当
- ・ 5月2日（生野地域）
内 容：平成30年度熱中症訪問について
出席者：生野区運営委員、包括
- ・ 6月2日（林寺地域）
内 容：平成29年度林寺連合の振り返り
出席者：民生委員長、地域役員、民生委員、包括、認知症施策推進担当
- ・ 8月7日（西生野地域）
内 容：西生野連合高齢者支援について
出席者：地域役員、民生委員長、福祉コーディネーター、認知症施策推進担当
- ・ 8月23日（西生野地域）
内 容：西生野連合の高齢者実態把握と見守りにつて
出席者：地域役員、民生委員長、見守り相談室、福祉コーディネーター、包括、認知症施策推進担当
- ・ 10月4日（林寺地域）
内 容：林寺連合高齢者の状況からの取り組みについて
出席者：ネットワーク委員、地域役員、民生委員長、民生委員、ブランチ、包括、認知症施策推進担当

計 7回（3地域）

(3) 生野区訪問介護事業者連絡会の開催

〔実施状況〕

- ・運営委員が中心になり研修会の企画、実施を行い、自主的な運営を行っている
- ・4包括協働事業、生野区地域包括支援センターが事務局を担っている。

連絡会による研修会を開催（10回）

（研修内容）

リスクマネジメント、援助技術、介護技術、接遇マナー、感染症、人権研修、グリーフケア、アンガーマネジメント、アサーショントレーニング、事例検討会

（4）生野区グループホーム・小規模多機能ホーム連絡会の開催

〔実施状況〕

・2カ月に1回連絡会を開催し研修の企画、情報交換を行った。（計6回）

（5）生野区内地域包括支援センター連絡会の開催

〔実施状況〕

・月1回の開催。（計12回）
・区役所高齢担当職員も交え、各包括の取り組み、情報交換、協働事業の検討・実施・進捗報告について会議を行った。

（6）市内東ブロック地域包括支援センター連絡会の開催

〔実施状況〕

・3月に1回、研修会や情報交換会を行った。（計4回）

（7）社会貢献事業連絡会（大阪府社協）への参加

〔実施状況〕

・生野区・東成区合同CSW連絡会。研修会や情報交換会を行った。（計2回）

（8）地域密着型運営推進会議への参加

| | | | |
|----------------|----|--------------|----|
| ・グループホームあさひ | 4回 | ・アミライフ林寺 | 6回 |
| ・よりあい処 菜の花 | 2回 | ・あでらんで二条通りの家 | 1回 |
| ・くつろぎデイサービス夢の箱 | 2回 | ・区在宅デイ | 1回 |
| ・リライフ | 1回 | ・ベルラック | 1回 |
| ・リライフプラス | 1回 | ・あでらんで二条商店街 | 1回 |
| ・おかちやま（区在デイ） | 1回 | | |

（9）生野区くらしリセット連絡会議および地域見守りPT会議への参画

〔実施状況〕

・区役所、各地域包括支援センター、障がい者相談支援センターより個別ケースの報告、検討、情報共有、振り返り等を行った。（計6回）

(10) 高齢者の介護予防と生活支援を考える会議への参画

〔実施状況〕

- ・区役所、各地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、区社協生活支援コーディネーター。取り組み報告、情報の共有を行った。(計6回)

(11) 東生野夜間中学校(在日外国籍住民)への福祉情報の啓発活動

〔実施状況〕

- ・10月 計1回、学生を対象に啓発活動を行った。

(12) つながっていくの会議への参画(民間事業者との見守り連携)

〔実施状況〕

- ・9月、1月(計2回) つながっていくの会議(孤立死をなくす民間事業所との連携検討会議)に参画した。

2 認知症支援ネットワークの構築

(1) 在宅医療ネットワーク支援会議(医療・保健・福祉のネットワーク構築)、認知症高齢者支援ネットワーク会議(認知症高齢者支援ネットワークの構築)の事務局

〔実施状況〕

- ・会議開催は毎月1回。内、事例検討会(1回)、ワールドカフェ(1回)を開催し多職種の連携を図った。
- ・3月9日 区民向けの認知症予防、在宅医療支援の講演会及びシンポジウムを開催しました。

内容：認知症・在宅医療シンポジウム ～その時、あなたはどうする！？～

第1部 認知症講演会 講演「認知症について」

徘徊模擬訓練について

第2部 在宅医療シンポジウム「自宅での看取りについて」

参加者：210名

(2) 関係者会議(認知症初期集中)

〔実施状況〕

- ・事務局を担い、市、市社協、区、オレンジチーム、区内包括で認知症初期集中支援チームの関係者会議を開催し、事業の報告を行った。(計2回)

(3) 組織代表者級会議開催

〔実施状況〕

- ・事務局を担い9月と2月に組織代表者級会議を開催し取り組み等の報告を行った。(計2回)

(4) 実務者レベルの会議（ワーキングチーム会議）の開催

〔実施状況〕

- ・毎月 1 回、認知症ネットワーク会議の実働部隊として研修や情報交換等を行った。
(計 12 回)

いくみんお守りキーホルダー



申込者数
2,695 名

(5) いくみんお守りキーホルダーの登録・配付

〔実施状況〕

- ・新規に申込みのあった 198 人に配付した。(～No.2695)

3 総合相談支援業務・権利擁護業務

(1) 電話、来所、訪問による相談対応

〔実施状況〕

| | | | | | |
|----|---------|-----|---------|--------|---------|
| 電話 | 3,363 件 | 来所 | 1,008 件 | | |
| 訪問 | 764 件 | その他 | 21 件 | | |
| | | | | 相談件数合計 | 5,156 件 |

(2) 総合相談・権利擁護相談の振り返り会議の開催

〔実施状況〕

- ・毎月 1 回の課内会議にて相談支援についての振り返りを実施。(計 12 回)

(3) 総合相談窓口(ブランチ)連絡会および行事の開催

〔実施状況〕

- ・計 8 回開催した。
(内容) スキルアップのための研修会、事例検討会等を行った。

(4) 高齢者虐待防止ネットワークの構築

〔実施状況〕

- ・8 月 25 日 区内居宅介護支援事業者、訪問介護等介護保険事業者を対象に、高齢者虐待防止と権利擁護研修会を開催。

(5) 在日外国籍高齢者の相談対応の充実

〔実施状況〕

- ・毎月 4～5 件程度の在日外国籍高齢者の相談を受けている。

(6) 介護者家族の会（楽護会）の運営支援

〔実施状況〕

- ・ 奇数月第2火曜日、偶数月第3木曜日に定例で開催した。
- ・ 事務局として、会の自主的な運営の支援を行った。
- ・ 勉強会、参加者同士の交流、介護負担の軽減、情報提供などをおこなっており
毎回20名程度の参加がある。

(7) 家族介護支援教室の開催

〔実施状況〕

- ・ 生野区地域包括による教室を8回（内ランチとの共催7回）開催した。

(8) 高齢者向け住宅事業者連絡会への参画

〔実施状況〕

- ・ 毎月1回の運営委員会にオブザーバーとして参加

(9) 認知症予防連続講座（おかちやま脳トレ教室）の開催

〔実施状況〕

- ・ 認知症予防、笑いヨガ、ふりふりグッパ等について講習を行った。（計12回）

4 包括的継続的マネジメント

(1) ケアマネジャーへの個別支援

〔実施状況〕

- ・ 合計965件
- ・ 支援方針の助言、困難事例への対応、地域ケア会議の開催などを行った。

(2) 生野区居宅介護支援事業者連絡会の開催

〔実施状況〕

- ・ 情報提供及び研修会などを実施（計11回）
- ・ 生野区内地域包括と連絡会運営委員により研修の企画など、事業の運営をおこなっている。生野区地域包括支援センターが事務局を担う

（研修内容）

- ・ 医療との連携、法令遵守、コーチング、生活保護についてなど
- ・ 11月 区民向けの講演会「バリテーションによる対話」を開催。

参加者：230名

(3) 生野区主任介護支援専門員連絡会の開催

〔実施状況〕

スーパーバイズの力量向上を目的として、2カ月に1回、コーチングや気づきの事例検討会等の研修会を開催した。

5 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 介護予防支援業務（要支援1・2認定者）

〔実施状況〕

- ・ ケアプラン作成、一部委託先へのプラン確認・指導・助言を実施

認知症初期集中支援推進事業報告

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」を実現するため、適切な支援につながっていない認知症初期の方を早期発見・早期診断・早期支援に結び付けました。また、日常生活圏域において構築してきた認知症の方を支援するネットワークを活用し、早期発見・早期診断・早期支援機能が自律的に機能し、認知症の方を支援する地域の体制を構築しました。

訪問支援対象者数：64件

《月別内訳》

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 15 | 15 | 13 | 11 | 9 | 8 | 10 | 12 | 16 | 19 | 14 | 21 | 163 |

《年齢・性別別内訳》

| | 64以下 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90以上 | 不明 | 合計 |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|----|
| 男性 | 0 | 2 | 5 | 6 | 5 | 1 | 3 | 0 | 22 |
| 女性 | 4 | 0 | 5 | 12 | 19 | 9 | 2 | 2 | 51 |
| 合計 | 4 | 2 | 10 | 18 | 24 | 10 | 5 | 2 | 73 |

《世帯類型別内訳》

| 独居 | 夫婦のみ | 未婚の子と同居 | 子世帯と同居 | 配偶者と同居 | その他親族と同居 | その他 | 不明 | 合計 |
|----|------|---------|--------|--------|----------|-----|----|----|
| 34 | 12 | 11 | 4 | 10 | 2 | 1 | 2 | 73 |

《相談・紹介経路別内訳》

| | | | |
|---------------|----|--------------|----|
| 本人 | 4 | 民生委員 | 3 |
| 家族（同居） | 21 | 旧地域ネットワーク推進員 | 2 |
| 家族（別居） | 10 | 医療機関（開業医） | 2 |
| 家主・管理人 | 0 | 医療機関（病院） | 0 |
| 地域包括支援センター | 3 | 地域活動（区社協） | 1 |
| 老人福祉センター | 1 | 区役所（ケースカー） | 6 |
| ケアマネ | 2 | 警察 | 2 |
| くらしの相談窓口（区社協） | 2 | 銀行 | 4 |
| 見守り相談室（区社協） | 1 | 郵便局 | 1 |
| 近隣住民 | 5 | その他店舗 | 2 |
| 町会（町会長等） | 1 | 合計 | 73 |

《介入前》

| 未申請 | 申請中 | 区変中 | 自立 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 57 | 5 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |

《介入後》

| 未申請 | 申請中 | 区変中 | 自立 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 11 | 22 | 1 | 1 | 14 | 7 | 12 | 3 | 2 | 0 | 0 |

《認知症の診断状況》

| 鑑別診断 | 無（支援中含む） | 計 |
|------|----------|----|
| 37 | 36 | 73 |

《相談のみのケース：56件》

（内訳）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 4 | 5 | 4 | 5 | 4 | 1 | 10 | 5 | 2 | 4 | 7 | 5 | 56 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|----------|---------|-----|----------------------------------|----|---|-----------------|-------------------------|----|----|----|
| 11月 | 文化祭準備 (プログラム作成含む) | 1 5・6 | 木 月火 | 119 | 健康セミナー②(後 期)「高齢者向けの薬 の管理」 | 28 | 水 | 35 | ウォーキング講習会 | 2 | 金 | 20 |
| | 第18回 文化祭 (IIK 共催事業) | 7 8 | 月 木 | 723 | | | | 区老連定例委員会 | 13 | 火 | 12 | |
| | 文化祭後片付け | 9 | 金 | 16 | | | | 第1回ウォーキング | 15 | 木 | 28 | |
| | 世話人会 | 13 | 火 | 35 | | | | 第2回ウォーキング | 22 | 木 | 27 | |
| | シニアスクール③・④ 「生野消防署見学」その他 | 14 26 | 水 月 | 37 | | | | 88歳 長寿お祝い | 27 | 火 | 56 | |
| | 千支押絵講習会 | 27 | 木 | 24 | | | | | | | | |
| | 新伝統芸能の調べと終活 の集い | 29 | 木 | 359 | | | | | | | | |
| いきいき百歳体操 | 毎週 | 火 土 | 218 | | | | | | | | | |
| 12月 | 相撲甚句講習会①・② | 3 17 | 月 月 | 42 | 健康セミナー③(後 期)「これから多くな る肺疾患」 | 19 | 水 | 35 | 第15回 女性部スリーアイズ大 会 | 7 | 金 | 79 |
| | クリスマス会 (IIK 共催事 業)「津軽三味線と日本民 謡の調べ」 | 6 | 木 | 68 | | | | 区老連定例委員会 | 14 | 金 | 14 | |
| | 交通安全講習 | 7 | 金 | 64 | | | | 女性部押絵講習会 | 17 | 月 | 54 | |
| | 世話人会 | 11 | 火 | 38 | | | | | | | | |
| | お楽しみ会 「毛糸の帽子づくり」 | 13 | 木 | 18 | | | | | | | | |
| | シニアスクール⑤ 「けん玉を楽しもう」 | 15 | 土 | 15 | | | | | | | | |
| | 世代間交流クリスマス会 | 21 | 金 | 66 | | | | | | | | |
| | 年末大掃除 | 28 | 金 | 54 | | | | | | | | |
| いきいき百歳体操 | 毎週 | 火 土 | 268 | | | | | | | | | |
| 1月 | 相撲甚句講習会③・④ | 7 21 | 月 月 | 36 | 健康セミナー④(後 期)「高齢者に多い皮 膚疾患」 | 23 | 水 | 29 | 区老連定例委員会 | 15 | 火 | 15 |
| | 世話人会 | 8 | 火 | 32 | | | | 区老連スリーアイズ大 会 | 17 | 木 | 92 | |
| | 交通安全講習 | 16 | 水 | 22 | | | | | | | | |
| | コリア文化に親しもう 「舞踊と楽器演奏」 | 26 | 土 | 38 | | | | | | | | |
| | お楽しみ会 「琉球舞踊体験」 | 29 | 火 | 28 | | | | | | | | |
| | いきいき百歳体操 (体カテスト含む) | 毎週 | 火 土 | 308 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|----------------------------------|----------|--------|-----|------------------------|----|---|----|------------------------|----|---|-----|
| 2 月 | 相撲甚句講習会⑤ | 4 | 月 | 14 | 健康セミナー⑤(後期)「地域包括支援の役割」 | 27 | 水 | 28 | 区老連定例委員会 | 15 | 金 | 14 |
| | 第17回 区民スリーアイズ大会 (IIK 共催事業) | 10 | 日 | 222 | | | | | 単位会長・女性部長 合同研修会&懇親会 | 25 | 月 | 42 |
| | 世話人会 | 12 | 火 | 34 | | | | | | | | |
| | 交通安全講習 | 12 14 | 火 木 | 40 | | | | | | | | |
| | お楽しみ会 「練功体験」 | 14 | 木 | 24 | | | | | | | | |
| | 健康教育&結核無料検診 | 21 | 木 | 16 | | | | | | | | |
| | 東ブロック交流卓球大会 (IIK 共催事業) | 21 | 木 | 119 | | | | | | | | |
| 2 月 | 和菓子講習会 | 23 | 土 | 19 | | | | | | | | |
| | いきいき百歳体操 | 毎週 | 火 土 | 275 | | | | | | | | |
| 3 月 | 長寿お祝い会&演芸会 | 5 | 火 | 188 | | | | | 春季遊歩会 | 6 | 水 | 167 |
| | 冬季囲碁・将棋大会 | 7 | 木 | 25 | | | | | 区老連定例委員会 | 12 | 火 | 13 |
| | お楽しみ会 「脳を元気に」 | 11 | 月 | 29 | | | | | 女性部長社会見学 | 18 | 月 | 15 |
| | 世話人会 | 12 | 火 | 41 | | | | | | | | |
| | 自衛消防訓練 | 12 | 火 | 62 | | | | | | | | |
| | 交通安全講習 | 13 | 水 | 11 | | | | | | | | |
| | かるたあそび | 13 | 水 | 11 | | | | | | | | |
| | 暁でスリーアイズ大会 (練習日含む) | 14 30 | 木 土 | 53 | | | | | | | | |
| | いきいき百歳体操 | 毎週 | 火 土 | 232 | | | | | | | | |

(注) IIK…生野区高齢者の生きがいと健康づくり総合推進事業の略称

| 年度 | 開館 日数 | 総利用 人数 | 平均 利用 者数 | 60歳代 | | 70歳代 | | 80歳代 | | その他 | |
|----|----------|-----------|----------------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-----|
| | | | | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| | 28 | 292 | 49,134 | 168.3 | 3,169 | 4,195 | 13,245 | 12,984 | 9,121 | 5,042 | 774 |
| 29 | 293 | 47,751 | 166.1 | 3,083 | 4,029 | 10,608 | 13,016 | 9,419 | 6,249 | 714 | 633 |
| 30 | 292 | 46,200 | 158.2 | 2,099 | 3,422 | 9,531 | 12,949 | 9,314 | 7,423 | 793 | 669 |

年間利用者数(団体利用は含まない)



4月 お楽しみ会
「熟年世代からの財産管理講座」



6月 健康セミナー「口臭予防」



6月 「ポンポン手芸&おりがみ腕輪」
～工作ボランティアしてみませんか～



10月 「ラージボール卓球大会」



11月 「新伝統芸能の調べと終活の集い」



12～2月 「相撲甚句」全5回講習

大阪府共同募金会生野地区募金会

| | |
|-----|---|
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 区地域振興会 連合振興町会長会議 [18日] 平成30年度共同募金運動 及び 目標額 (大阪府・生野区・連合別) について説明 ・ 共同募金運動にともなう募金資材の配付 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭募金活動 (地下鉄 千日前線 北巽駅前・小路駅前) 雨のため中止 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 区地域振興会 連合振興町会長会議 [13日] 平成30年度共同募金運動実績報告 【実績額】 7,814,955円 ※ 目標額 9,096,000円に対する達成率 85.9% (内訳) <li style="padding-left: 20px;">戸別募金 7,551,167円 <li style="padding-left: 20px;">街頭募金 28,060円 <li style="padding-left: 20px;">バッチ 893,000円 <li style="padding-left: 20px;">学校募金 228,396円 <li style="padding-left: 20px;">職域募金 4,020円 <li style="padding-left: 20px;">DM法人 160,000円 <li style="padding-left: 20px;">その他 52,292円 |

日本赤十字社大阪府支部生野地区

| | |
|-------|--|
| 4月～5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度赤十字運動 <li style="padding-left: 20px;">目標額 10,439,000円 <li style="padding-left: 20px;">実績額 12,879,232円 ※内各連合の実績額：10,285,226円 |
| 7月～9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪北部地震災害、豪雨災害：10,382,703円 |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生野区赤十字奉仕団・生野区社会福祉施設連盟合同防災イベント |